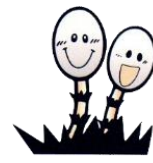


NEWS LETTER

上越つくしの里



vol. 35

発行 (福)上越つくしの里医療福祉協会

〒943-0109 上越市北新保 55-1

TEL 025-520-3294 FAX 025-520-2582

URL <http://www.tsukushinosato.com>

MAIL tsukushi@tsukushinosato.com

発行人: 川室 優 平成 30 年 3 月 31 日発行

第25回記念つくしんぼ音楽会

平成30年1月27日(土)に『第25回記念つくしんぼ音楽会』を開催しました。

つくしんぼ音楽会は、平成9年11月よりつくしセンターの地域住民との交流事業として開催している事業で、例年はつくしセンターを会場に行っていましたが、今年度は25回目の節目の年であり高田公園オーレンプラザのホールに会場を移して開催しました。当日は、寒波の影響で大雪に見まわれ足元の悪い中ではありましたが、465名の大勢の方に会場していただきました。

音楽会は、大潟区を中心に活動されている「海音鼓(うみねこ)」の皆様による勇壮な太鼓の演奏でオープニングを飾っていただき開演。第1部は、つくしんぼ音楽会の歴代の出演者の皆様から、♪「高田西小学校5年生」(平成16年第12回に出演)の皆様によるリコーダーと合唱、♪「自由に楽坊」(平成21年第17回に出演)の皆様による二胡や三線、手遊びなどで会場を盛り上げていただき、♪「久比岐野邦楽アンサンブル」



(平成15年第11回に「こすもす」として出演)のお二人による琴と尺八の演奏、

♪「新井吹奏楽団」(平成14年第10回に出演)の皆様によるアンサンブルの演奏を披露していただきました。

後半の第2部は、国内外で活躍されているバリトン歌手の時田直也様にご出演いただきました。会場内には迫力のあるバリトンの声が響き渡り、歌と語りで時田様の世界に引き込まれました。最後には、会場の皆様と一緒に合唱し会場がひとつになりました。✓



また、会場ロビーでは上越ワーキングネットワークを始め、つくし工房、つくしワークショップスペース、好望こまくさの授産製品の販売をし、会場を盛り上げました。



平成 29 年度活動紹介

つくし工房・つくしワークトレーニングルーム（分場）

つくし工房では、パンやお菓子の通常販売の他、それらをセットにしたギフト商品の販売も行っています。平成 29 年度は、婚礼や法事の引き出物としても利用していただきました。関連の合同会社「つくし・ひまわりSSネット」で取り扱っている品物とコラボしたセット内容も可能です。また、和菓子(上生菓子)のご注文もたくさんいただきました。

多くの方からつくし工房の製品を手にとっていただければ、通所している利用者の工賃額の向上につながります。そして、つくし工房もより良い製品づくりをしていきますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



好望こまくさ・ひまわり作業所（分所）

平成 29 年度は、東京の聖学院中学校とお菓子作りを通じた交流がありました。聖学院中学校は、32 年間にわたり糸魚川に農村体験に来られています。大火の際は、募金活動を行っていただきました。さらに踏み込んだ活動として、糸魚川ナスプロジェクト（聖学院から糸魚川に何ができるのか）を企画してくださいました。糸魚川の名産「越の丸茄子」を使ったスイーツを考案、製作の依頼がありました。糸魚川の知名度アップにつなげたいと、数種の試作品の中から、丸茄子のマドレーヌを作ることになり、製品は学園祭で販売、市場調査をして、「地元グルメの一品になれば」との熱い思いを受けました。好望こまくさでは「越のまるナス子」とのネーミングで、イベント販売しています。

若い斬新なアイデアに触れることができ、さらなる商品開発の意欲に繋がるところです。



つくしワークショップスペース

6 月の「ふくしのひろば」と 9 月の「ふれあいフェスタ」で手作りのチキンカツバーガーを販売しました。つくし工房の丸パンに照り焼きソースをたっぷりつけた揚げたてのチキンカツとシャキシャキレタスを挟みました。お客様に買っていただけるか心配でしたが、利用者の方が一生懸命販売してくれたおかげで完売することができました。チキンカツバーガーを食べたお客様からは「おいしかった」「また食べたい」といった感想が聞かれました。これからも積極的にイベントに参加して、利用者の皆様の工賃アップに力を入れていきたいと考えております。



地域生活支援センターこまくさ

9 月 21 日に、上越・妙高の地域活動支援センターの交流会に初めて参加させていただきました。つながり支援センターこもれ Be、ほっと妙高、つくしセンター、センターこまくさのメンバー、スタッフ 30 名以上でハートランド妙高にてバーベキューをし交流を深めました。参加者からは、「色々な人とお話をすることができて良かった」「交流会があればまた参加したい」と感想をいただきました。

来年度も見学会や交流会等を通し、交流を深めていくことができればと考えております。



グループホームつくしの里

3月9日に食事会を行い、みんなでおいしいお寿司と豚汁、デザートにはケーキを食べました。久しぶりのお寿司にみなさん、大感激で「今日は何かのパーティーですか？」と聞いてこられる人もいらっしゃいました。みんなで食べたお寿司は格別でしたとの感想も聞かれ、大変喜んでおられました。毎年、お誕生会やクリスマス会なども開催していますが、今後も日常生活の中で楽しみがもてるような機会を提供していきたいと考えております。



グループホームサンハイツ

忘年会をかねて、12月21日に上越七福の湯とドンキホーテへでかけてきました。

七福の湯では色々な種類のお風呂を楽しみ、リフレッシュをすることができました。

ドンキホーテではたくさんの商品が並び、みなさん思い思いの品物の購入を楽しみました。生活のリズムも様々な方が共同生活を送っている中、おでかけをすることでお互いのことを知りあうことのできる機会にもなると感じています。これからも親睦を深めていくことのできるような機会を設けていきたいと考えております。



職員紹介

センターこまくさ地活専門職員

グループホーム世話人

堀田 須美江

昨年8月末から勤務している堀田です。

憧れのパートで日々楽しく過ごしています。

でも根が鈍感で気配りできず失敗してはご迷惑をおかけしているのです。

持って生まれたものは変え難いのですがうさぎと言われるくらいの

大声を出せる、笑える、そして天然なところは短所であり長所かと考えます。

ふざけ過ぎずユーモアは忘れず、を心掛けます。宜しくお願いします。



職員研修

つくしの里では年2回法人研修が行われています。平成30年3月に開催された第2回法人研修では、広島大学大学院 ^{えぼしだ あきら} 鳥帽子田 彰 教授を講師に迎え、「精神障がい者の支援～住まいと食の視点から～」をテーマに研修を行いました。テーマとしては障がい者の生活に焦点を当てた内容でしたが、生活の基本的となる健康と食や住まいの部分は障がいに関係なく、私たちスタッフにも共通する講義であり、私たち自身の生活を振り返る機会となりました。研修の後半では講師から出された項目に沿ってグループワークを行い、学習と職員間の交流の機会にもなりました。



ご寄付のご報告 (H29 ご寄付いただいた順)

健康福祉花見会様、健康福祉花見会フリーマーケット様、健康福祉花見会フリーマーケットいなほ園様、富士ゼロックス新潟端数倶楽部様、笹川春艸様、越後ひまわり祭実行委員会様、白川八枝子様、上越つくしの里後援会様、川室優様、新潟県理容生活衛生同業組合糸魚川支部様
その他、タオル、英字新聞、販売用製品等の物品を多数頂戴しました。

上越つくしの里後援会様（小熊迪義会長）より、平成29年度の寄贈品として、つくし工房とつくしワークショップスペースにパソコンを、つくしセンターに物置を、好望こまくさにウォシュレット便座をそれぞれ頂戴しました。墨画家の笹川春艸先生から、ひまわりの水墨画をつくしワークショップスペース付属のつくしショップにご寄贈いただきました。皆様からのご厚意に、こころより感謝申し上げます。



事業所	分類	苦情内容	対応	
平成29年度苦情受付	つくし工房	施設に対して	忙しくなるにつれ、おざなりな態度となったり、語気強く暴言が見られた。話し合いをしたが、ごまかしや言い訳ばかりだった。改善して欲しい。	見解の相違や誤解もあるものと思われるが、そのように受け取れかねない話し方や表情等があったのかもしれないことをお詫びする。嫌な気持ちに感じないように配慮ができるよう、全ての職員に周知を図っていく。マンパワーや職員配置の問題もあるので、計画的に整えていく。
	つくしワークショップスペース	職員に対して	作業のことで困っているときに相談したがなかなか対応してもらえず不安になった。	相談を受けた時は迅速に対応することを約束した。対応が難しいときには他の職員にお願いするなどして対応していくことにした。
	つくしセンター	施設に対して	連絡や相談がしたくてセンターに電話をするがつかないのと市役所に匿名で電話があったと連絡がある。	相談の電話等で電話が長引いたりすることがあり、職員一人ひとりが時間を意識しながら対応していく。
	好望こまくさ	施設に対して	利用者が、駐車場や歩きながらタバコを吸っている。	無記名のハガキが届き、落ち葉のある駐車場でタバコを吸っている、歩きながらタバコを吸い、幼稚園児とすれ違った時に危険と感じたとの内容。タバコを吸っておられる方に内容を伝え、指定の場所以外での喫煙をしないようお願いした。
	センターこまくさ	職員の言動	朝、来たときに職員にあいさつをしたが返してくれなかった。嫌な思いをしたのですぐに帰った。	ご本人が来所された際、帰られる際等の大きなあいさつを最大限評価し、職員も気持ちの良いはっきりとしたあいさつを返す。

※一事業所一つずつ掲載しています。他の内容については取りまとめ次第ホームページに掲載させていただきます。

— 編集後記 —

平成29年度は、部会の活動を充実し、「この施設を利用したい」と思えるような支援ができるよう取り組んでまいりました。活動中の職員では気がつかないところを、皆様の外からの眼で見ていただき、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。職員一同、支援の向上に努めてまいります。

(法人広報開拓部会 田邊、川澄、渡辺、藤井、山本)